



# 議会だより



Tatsuno Town  
Assembly News

## 12月定例会



部分開通した中道線

### 第12号

平成16年(2004年)  
2月1日

発行/辰野町議会  
編集/議会広報委員会

常任委員会活動の様子

～総務文教常任委員会～

p.2

～社会福祉常任委員会～

p.3

～経済建設常任委員会～

p.4

1期議員の思いと抱負

p.5～7

陳情のゆくえ

p.8

# 総務文教常任委員会

## 委員会活動報告

○懇談会の開催について

12月定例会審査報告

○放置自動車等の発生の防止及び  
適正な処理に関する条例について



### 懇談のテーマ としては

12月3日学校教育、  
社会教育関係者懇談  
会を行いました。出  
席者は、教育委員4  
名、社会教育委員7  
名、教育長、町内小  
中学校長、議長、生  
涯学習課長、学校教  
育課長、総務文教常  
任委員5名総計26名  
により町内での教育  
の現状と課題の認識、  
提案などの意見交換  
を行いました。

#### ① 学校教育

週休2日制につい  
て、総合教育、学  
力、新方式による  
高校入試、地域の  
かわり、子ども  
たちの日常生活（  
校内、家庭、地域）

#### ② 社会教育

教育マスター、育  
成会、地域の行事

#### ③ 家庭教育

道徳、しつけ、家  
庭の役割、父親の  
役割

#### ④ 生涯教育

公民館活動、社会  
教育、地域との関  
わり

の四つとし、町内  
各学校の教育方針、  
取り組みについて  
校長先生から発表  
が数多くありまし  
た。一部を紹介し  
ます。

◎子どもたちの計画  
で取り組む異学年  
の「縦割り活動」

を実施している。

◎個性を発揮できる  
子どもが生きるた  
めの基本について  
指導している。

◎不審者等の防止対  
策に連絡網を実施  
している。

◎学校の指針「夢の  
学びを中心に行動  
する」をもとに全  
生徒に徹底し取り  
組んでいる。

◎ふるさと学級を実  
施している。

◎高齢者の皆さんと  
交流会を実施して  
いる。

◎地域との寺子屋を  
考えている。

### 要望事項としては

◎防犯対策として、  
各教室へ連絡でき  
る機器類の設置

◎各学校間とのイン  
ターネットによる  
学習、コンピュー  
ター教育への対応  
◎カウンセラー、教

育相談員等の増配

◎サポートチームの  
会をつくりたい。

◎築後46年経過の校  
舎は環境が悪いた  
め改善を希望する。

### 感 想

21世紀は、「ここ  
ろの時代」と言われ、  
学校教育では週休2  
日制、ゆとり教育、  
総合教育が取り入れ  
られてきました。物  
の豊かだけが自立、  
価値観が多様化する  
中で教育は一層の難  
しさが増してきました。  
意見交換の中で、  
子どもの問題行動が  
多発し、しかも低年  
齢化している。この  
ことが教育上の最大  
の課題である。幼児  
期からの親と子の信  
頼や、心の交流が大  
切である等の意見が  
ありました。  
子ども一人ひとり  
が自ら学び考える力

### 条例審査 について

辰野町放置自動車  
等の発生の防止及び  
適正な処理に関する  
条例の制定について

2005年1月に  
国の自動車リサイク  
ル法が施行されるに  
あたり、現在町では  
要綱で対応していま  
すが、より効力にあ  
る条例で定めたいと  
いう目的により制定  
される条例です。こ  
の条例により自動車  
の不法投棄が無くな  
る事を期待して委員  
全員可としました。

や、豊かな人間性など  
を育てていくために、  
学校、家庭、地域社  
会が連携協力して取  
り組むことが大切で  
あると感じました。

# 社会福祉常任委員会

委員会活動報告

○懇談会の開催について



今回の懇談会は、ボランティア連絡協議会12団体13名の方に参加して頂き開催しました。懇談会の趣旨は、今後の町づくりについて意見交換して頂き、「住みよい地域・町づくり」ひいては「辰野町の更なる発展」に寄与するために開催したものです。主な懇談内容を紹介します。

## 市町村合併について

○箕輪町は住民投票を行うと表明したが、辰野町は意向調査の結果を踏まえて、自立でいくと表明したが住民投票はしないのか。

▲現段階では6市町村との合併はせず自立でいく、住民投票もしない。

## 小野介護予防センターの運営について

○小野介護予防センターは昼間だけで夜が使えない。元気なお年寄りしか使えない。地元で施設を運営するのに区長さんが中心に動くのが良いか、ボランティアが中心で進めるのが良いか。施設の運営についてボランティアの方も一緒に考えて考える場を設定してほしい。

▲地元で地区社協を立ち上げ夜も使用できるような要望を出してある。寝たきりにならないで、健康で長生きを手助けし促進していく施設としたい。

## 地区社協について

○地震が起きたとき隣近所、地区が大切になる。地区社協にボランティア協議会のつながりを活かしていけないか。議員がボランティアにどう関わってもらえるか、議員だからできることもある。地区社協を立ち上げるには、区長が中心となって、協力してくれる人を集め推進すれば意外と立ち上がってきそう。防災訓練のとき寝たきりの人、動けない人をどうするか、今後各地区で発想を変え取り組んでいかなければいけない。

ない。民生委員、区では知っているが、プライバシーの問題もありどの家に災害弱者がいるかわからない。係の人が知らなければ防災訓練の意味がない。

▲議員もボランティア団体の中で活動している人もいるし、ホテル祭りには活動もしている。ボランティア活動への参加意識は十分ある。災害のときは、区が中心になって動くことになるが、マンパワーをどう活かしていくのか、ピラミット型でない組織をどうやったらできるか自治意識の中で研究する段階にきている。大きな区は常会単位でない地区社協は難しい。地域住民がお互いに声を掛け合える、寝たきりの人も声を掛けたりする努力をしていくことが大切ではないか。

## ボランティア活動について

○ボランティア活動を続けていくのが難しくなっている。ボランティアをしている団体があることを多くの人に知ってもらいたい。ボランティアセンターもでき自分から参加してくることが増え、横のつながりが生まれきている。16年度予算7%カットの方針をだしているが、ボランティア、福祉の関連については増額も考えてほしい。

短い時間でありましたが活発な意見が出され、有意義な懇談会になりました。貴重な意見として今後の議会活動に生かしてまいります。

# 経済建設常任委員会



経済建設常任委員会は、10月24日老人福祉センターにおいて、経済建設関係諸団体との懇談会を開催しました。

今回委員会としてはじめての取り組みでしたが、商業・工業・農業それぞれの立場から多数の皆様に参加していただき活発なご意見、ご要望をいただきました。ご意見を集約し、ここに掲載いたします。

## 合併について

6市町村と合併した場合、辰野町は外れになり会議に行くにしても何かと不便になり、また、議員の数にしても伊那市が多数を占めてしまうので、議会運営にしても、数の論理からいくとどうしても中心部が有利になってしまう。

また、予算にしても全て伊那市に入ってしまう、辰野分として入るわけではないので、今の形での合併するメリットは少ないと思う。合併しなくてもゴミ、消防等は今までどおり広域行政でやっていくわけだから、この点についての問題はないと思う。

## 産業について

町の商工業は、大変厳しいのが現状である。産業が発展しなければ町の発展も望めないと思う。農業等も併せた町の個性を活かした、文化伝統を大切にしたい町づくりを行うべき。合併すれば何とかなるといふ安易な考えを捨て、自立していくためには、行政に頼るのではなく、行政と住民が一体となり、共に考え行動していかなくてはと思う。

2万3千人の人々がこの町で生活しているわけだから、宅地の確保、働く場所の提供などを積極的に進める町づくりをしていけば、三方に通じる利点を活かした町として生きていく。また、地域を大切に産業の育成に重点をおく政策を行うて欲しい。

## 道路について

三方へ通じる利便性の良い町でありながら、道路事情が大変悪い。全てのネットワークは道路にあると思う。バイパスも含めて、地域が何を望んでいるのか、地元での意見集約を図り、道路行政を積極的に進めてほしい。

## 委員会の意見

国道153号線や他路線の改良やバイパス計画等の今後の進め方や、今までの国道及び町内道路工事で進行できない理由について調査を進め、意見書を上げるなど、辰野町議会として積極的に取り組むべきとの提案がありました。

また、平成16年から始まる、米政策改革・水田農業ビジョンについての質問が

出され、今後委員会としても調査研究を行い、要望・意見等も聞いて、町の農業全般について将来に繋がるような取り組みを進めるべきとの意見が出されました。

## お詫びと訂正

前号(11号)の2ページ「市町村合併について意見を聞く会」に関する記事で、一部が不手際により脱落し、意見発表いただいた方々のお名前が一部掲載されませんでした。

次の方々も意見発表されました。お詫びして訂正いたします。

(敬称略)

- 小松立樹(北大出)
- 伊藤剛志(小野)
- 一ノ瀬静子(川島)
- 宇治元一(小野)

# 当選から9箇月

## 1期議員の思いと抱負

### 矢ヶ崎紀男議員



議会の中では、議会運営委員のメンバーの一人として、議会運営がスムーズに進むよう取り組んでいます。

委員会では、経済建設委員会に所属し活動しております。商工業から農業、上下水道まで範囲が広く、諸問題に対応していくには日々の行動と勉強だと思ひ、気を引き締めて頑張

っていききたいと思ひます。

6月、9月、12月と3回の定例会で一般質問させていただき、限られた時間の中

中で、いかに要領良く質問を行い、いかに中身の濃い回答を引き出せるのかに大変な苦労を実感として感じております。

議員として、日々切磋琢磨し、町民の皆様への負託に応えていくことこそがその使命と思ひ、謙虚な気持ちですばらしい町づくりのために一杯努力を重ねていきたいと思ひます。

### 向山正一議員



かつて経験したことのない世界に入り直し振りに緊張した日々を送っています。

そこで改めて感じたことは、1期議員と2期以上の先輩議員の方たちとの差には驚きました。

議員としての取り組み方、権威等1年生議員には足元までも及びません。しかし、何時かは先輩議員に追いつき地域、

町のために役に立つよう勉強し職責を全うしていききたい。

これからの議員活動の決意については、区は大きく、地域は小さく個性ある生き活きとした地域づくりを、地域の住民の人達と共に考え実行してまいります。それが住みよい町づくりにつながっていきま

### 小林光夫議員



もそのことが重要でありました。私が経済建設常任委員であることに重責を感じて取り組んでいきたいです。

当然と言うべきが町政に対する関心が更に高まりましたし、自分が町会議員になって新たな視点が加わりました。また、

就任当初の勢いがあつた頃に比べ、時が経つにつれてより責任を感じてきました。

議会の審議では何も言わなければ承認となるので、問題点を見逃ごさないため

に、集中・事前調査の必要性を痛感しました。また、改めて町の財政、経済について関心が高まりました。

市町村合併の件で

今後、民主主義の理想の形として議会のありかたを追求し、町民のみならず共に議会改革を検討できればと思ひます。

なお、他の議員や町職員との交流は必然的に多くなりましたが、それ以上に私自身として、町民の声を聞いていく形を作らなければいけないと思ひています。

理念だけに終わらないよう、町会議員としての能力向上も最低していかなくてはなりません。

# 宮原功議員



議会は条例・予算・決算を含む15項目の議決を行い、町事務の検査・監査、意見書の提出など多岐にわたる活動が義務付けられています。これまで3回の定例議会と臨時議会を経験し、また、様々な町の行事に議員として参加しました。議会の任務は思ったより幅広く、短期間の間に重要な意思決定を要求されており、勉強不足と力不足を思い知らされました。

町から提案される議題は、まだ詳細ま

では分からないものの、議会での採決にあたっては、「町民のため」「長いこと」「町の将来のために」「平和と安全を守るか」ということを基準にし

ています。また、自立した元気な町にするためには、地域に根ざした住民参加の町政を進めることが大切です。議会として、住民要求の実現と町が発展するための提言ができるよう、研鑽・努力したいと思います。

# 福島主計議員



初議会での打合せ会、また研修会に参加し、議員の任務、委員会での委員の任務のなかで、住民全体の代表者として品

位を保持することはもとより、会議においても、能率的な審議に徹し、秩序維持に努めなければならぬことは自覚してきましたが、定例議会での議決を要する事項（可決、否決、同意、承認、採択）等それぞれの事件によって異なるために、

議員に託された任務をどのように果していくのか惑う件もあり、勉強不足の点反省してまいります。

今後の議員活動については、心構えとして、地域、町全体の奉仕者として、常に識見と信念を持ち住民の心情をつかみ、その心で物事に取り組み平成16年度予算も70億円程度（前年比7%減）の厳しい予算とお聞きしていますので、策定されている基本構想に合致するものであるか、真剣に検討していきたい。また、議会運営も積極的に取り組みます。

# 山岸忠幸議員



長かったような、短かったような気がするこの間でした。当初はなにもかも戸惑うことばかりで、それぞれの流れについていくのが精一杯でした。予算書ひとつにしても、数字の桁が今までの生活感覚からは大きく離れているし、数字の見方そのものが分かりづらく大変でした。

質問もこんなことをこんな場でしてもいいのかなと思いましたが、先輩議員の「1年生議員はどんなことを聞いても恥ずかしくないんだから」と

の言葉に勇気付けられ頑張っています。一般質問も既に3回経験しましたが、最初はとにかく緊張して、本当に壇上で原稿が読めるのかと思いましたが、何とか落ち着いてきていきます。

先日、全く知らない町民の方から「新聞で質問を見て全く同じ思っていました」という電話を頂いたとき、「ああ間違っていないかった。良かったんだ」と本当に心強く感じました。これからも、町民の視線で見ても、考えてやっていきたいと思っています。



# 宮沢清隆議員



①10年ぶりの無投票選挙でスタートして早9箇月。合併という大きな問題を抱えた変動の時期であり、

当初は、町のことをあまり知らない自分に気づき、戸惑いながら色々な会合や行事に参加するのが一杯でした。ようやく町の抱えている問題が分ってくるにつれ、「これは、大変なことだ」と益々フアイトが沸いてきました。

9月20日「合併について意見を聞く会」を開き、住民の率直な意思を知り、同時

4月の選挙から、早いもので9箇月が過ぎましたが、2年くらい経った様な気がします。



# 成瀬恵津子議員

②6市町村では合併せず、自立の道を歩むこととなった今、町の活性化を目標に、多くの面から改革が必要。また、羽北地区は、箕輪町との合併に前向きであり、お互いに高め合う合併を模索し、どうしたら良い町づくりができるのか、真剣に取り組んでいく所存です。

町民の皆様には、真心からの温かな激励で、支えていただき、心より感謝申し上げます。毎日毎日が緊張の連続ですが、皆様の声、要望をお聞きし、6月、9月、12月と一般質問をやることできました。

一般質問の10日位前から胃が痛くなる思いですが、一般質問は、議員の命です。必ずやっつけていきたいと思えます。また、毎回難問にぶつかったり、意味のわからない言葉、議員としての決まりなど戸惑うことばかりですが、先輩議員の皆さんが親切に教えてくださいますのでとてもありがたいです。

議員は名誉職でも何でもありません。町民の皆さんの奉仕者であります。町民の皆様が、今何に悩んでいるのか、何を困っているのか、何を要望しているのかをお聞きしながら、住みよい辰野町を目指していきたいと決意しています。特に、3人の子育ての経験から、教育、福祉には力を入れています。思いをお願いします。

まだまだわからないうことはありますが、一生懸命勉強し、そして働いて、皆様か

# 遠藤裕子議員



ら愛される議員として、使命を果たしていく決意であります。

だと思えます。これがあるからこそ、物をよく読む、調べる、聞く、書く等、良い勉強をさせてもらっています。

はじめて議会に出たとき、私の出る場所ではないと言う感じを受けました。9箇月が過ぎた現在、人にも慣れたし、考え方はそれぞれですが、どの方も人間的には、良い人ばかりで尊敬しております。

これから私も常に進めていかなければならないことは、男女共同参画社会づくりであります。言葉だけでなく、みんなが自分らしく、全体的に参画していかれるような社会をつくっていくことだと思えます。それは、先づ女性自身が意識を変え、行動に移していくこと。あせらずに。

# 陳情のゆくえ

12月議会では、継続審査を含めて、9件の陳情が提出されました。

審議の結果、採択2件、趣旨採択2件、不採択4件、継続審査1件となりました。

## 採 択

◆陳情「医療法の緩和及び制度改革のご協力について」

趣旨は、診療報酬の減額措置制度を、地方の病院経営実態に即した制度に緩和することを求めるものです。満足な治療が受けられ透明性ある医師派遣システム構築など、地域医療に万全の措置を講ずることを強く要望し、全員一致採択。

◆陳情「朝鮮民主主義人民共和国問題の平和的解決を求める陳情書」

現在日本の周辺でも朝鮮民主主義人民共和国問題がある。平和を望む日本は、決して戦争を行うことなく平和的にこれを解決するよう努力することを願い全員一致採択。

## 趣旨採択

◆陳情「浜岡原発震災を未然に防ぐことに関する陳情」

「浜岡原発全基を一刻も早く停止すること」を求めているが、ただちに停止することは困難だが、原子力発電は数々の

問題点を抱えてることから、地震対策など原子力発電の安全性について、万全を求める立場から趣旨採択。

◆陳情「安心できる年金制度の確立を求める陳情書」

趣旨は、すべての高齢者が安心して暮らせる年金制度を確立することであります。「全額国庫負担にすべき」ということが、今の制度の中で本当にできるのか疑問であります。意見書提出は賛成少数でしたが、趣旨は十分理解できることから、趣旨採択。

## 不 採 択

◆陳情「医療費負担の軽減を求める陳情書」

陳情の趣旨は、健康保険料を引き下げ、国庫負担を増やし、医療制度の拡充を求めるものであります。国民皆保険制度を将来にわたって維持するためには、応分の負担はやむを得ないことであり、賛成少数で不採択。

◆陳情「介護保険制度の改善を求める陳情書」

陳情の趣旨は、介護保険の利用料の引き下げ、住民税非課税者及び非課税世帯の利用料・保険料を無料とするなど、介護保険制度の改善を求めるものであります。今の経済情勢では負担を下げることは難しく、賛成少数で不採択。

◆陳情「国立病院の

独立行政法人化にあたり、国立病院の機能強化及び賃金職員の雇用継承と医療・看護体制の充実、院内保育所の継続を求める陳情書」

趣旨は、地域医療の劣悪化を憂慮し、国に対し国立病院の機能維持・強化を求めるものであります。国立病院以外にも様々な病院があり、同種の問題をかかえていることから、全体的にとらえ直すべきとの理由から、賛成少数で不採択。

◆陳情「イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書に関する陳情書」

イラク国民のために今何かしなければならぬことは委員全員の共通認識でした。「劣化ウランの汚染と後遺症に悩まされているイラク国民を今支援しなければならぬ」

## 継続審査

◆陳情「民主的な公務員制度の確立を求める陳情書」

内容についてなお審査する必要があります。継続審査と決しました。

採決の結果、賛成 8  
1、反対 4 にて、不採択。